

黒潮

和歌山県看護協会 会報

平成25年8月発行

第124号

発行所

和歌山県看護協会

〒641-0036

和歌山市西浜1014-27

TEL:073-446-0605

FAX:073-446-0899

<http://www.wakayama-kangokyokai.or.jp>

発行人

木村 佐多子



写真撮影：広報委員

CONTENTS

- 平成25年度 通常総会を終えて 2
- 平成25年度 新理事あいさつ 3
- 日本看護協会会長表彰受賞者 3
- 和歌山県看護協会会長表彰 3
- 保健師のコーナー 4
- 助産師のコーナー 4
- 看護師のコーナー 5
- 専門認定看護師のコーナー(トピックス2013) .. 5
- 地域連携のコーナー 6
- 「世界禁煙フォーラム2013 in 和歌山」に参加して .. 6
- 1日まちの保健室 7
- フレッシュナース 8
- 私の〇〇 8
- リレーエッセイ 友達の輪 8
- 医療安全数珠つなぎ 9
- My Hospital 9
- 平成25年度役員・各委員
及び地区支部長名簿 10
- 和歌山県看護協会の動き 11
- 知事とメディカル・スタッフ団体及び
病院協会長との懇談会 .. 11
- 新人看護職員オリエンテーション開催 .. 11
- 知って得する看護協会だより 12
- プレゼント 12

和歌山県看護協会 会員数

平成25年8月1日現在

会員総数	5,634名
名誉会員	2名
保健師	132名
助産師	201名
看護師	4,993名
准看護師	306名

平成 25 年度 通常総会を終えて

公益社団法人 和歌山県看護協会 会長 木村 佐多子



さる6月22日、県知事仁坂吉伸様はじめ、関係各団体の方々にご来席を賜り、会員462名（委任状4,255）のご参加のもと和歌山県看護協会通常総会を開催致しました。皆様には県下各地区からのご出席、また、理事の皆様や各委員会委員長、協力員の皆様、ご協力誠にありがとうございました。

今年度の提出4議案は全て可決頂き、新役員も投票選挙にて全員が信任されました。退任役員の皆様には、協会事業発展にご尽力頂きましたこと改めまして深く感謝申し上げます。

いま日本は、日本は高齢・多死の時代を迎え、働く場も施設から地域へと拡大し、看護職の需要は増大しており、人材確保は喫緊の課題です。

和歌山県看護協会は公益社団法人として、今年も、県民の健康で幸せな生活の実現に向けて、看護の質向上・看護職が働き続けられる環境づくり・看護領域の開発展開を目指して活動して参ります。

看護職がいきいきと働き続けるためには、看護のやりがいと共に専門性の強化が大変重要です。卒後臨床研修制度が努力義務化されて4年目、今年度もさらなる推進と共に、教育計画に基づいて、看護職のキャリア開発を支援し、看護の質向上、医療安全の確保、早期離職防止に繋げて参ります。また今年度の大きな事業である日本看護協会学術集会「成人Ⅰ」を「いのち輝く急性期看護 未来への創造」というテーマで10月24・25日に開催致します。また、2月には県看護研究学会も開催致しますので、皆様方の積極的なご参加を宜しくお願い致します。

看護職確保定着推進に関しましては、潜在看護職復職支援、WLB推進、出前事業等ナースセンター事業を強化し、行政、労働局、ハローワークとも

連携しながら、職場づくり、人づくり、ネットワークづくりに努めます。また、医療界初の「看護職の夜勤交代制勤務に関するガイドライン」の普及啓発、「看護師特定能力認証制度」の周知・推進に努めます。

また、高齢化が進む中で、地域の人々は可能な限り住み慣れた地域で、医療・介護を受けられることを願っています。在宅看護や介護施設の人材確保・質向上に向けては、看護師職能委員会Ⅱ・在宅看護推進委員会を中心に行政や訪問看護ステーション協議会とも連携しながら、人々のニーズに対応できる地域ケアサービスの向上に努めて参ります。

保健師の活動基盤強化、助産師の活動基盤強化の推進には、保健師・助産師各職能委員会を中心に活動して参ります。今年度の三職能集会は9月28日開催となっています。

建築推進に関しましては看護職能団体として果たす役割が拡大する中、教育機関として、災害時の拠点として、また将来の看護を担う看護職のためにも、地域ニーズに応えるためにも引き続きのご協力を何卒宜しくお願い致します。

組織強化に関しましては、24年度末の会員数は5,526人と昨年同月比161人の増となり、各地区支部や各職能委員会の活発な活動によるものと心から感謝致します。

協会事業推進には、役職員、委員会、支部活動の力が必須となります。各皆様方のご協力・ご支援のもと、地域のニーズに応えられる専門職能団体として活動してまいります。

今後とも会員の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

平成 25 年度 新理事あいさつ



会員の皆様のご支援を頂き常任理事の役割を果たしてまいります。

常任理事 古川 紀子



保健師の連携を強化し、いきいきと元気に活動できるように取り組みます。

保健師職能理事 櫻根 桂子



助産師職能活動を通して、協会の発展に尽力いたします。

助産師職能理事 宮本 靖代



協会員の皆様と連携し、活気ある看護師職能 I 活動を目指します。

看護師職能 I 理事 東 直子



地区支部の役員と共に、地域に貢献できるように努めていきます。

和歌山地区理事 岡室 優



会員の皆様の協力で研修会、看護月間行事など有意義なものにしたいです。

海南・海草地区理事 上裕 佳恵



施設間の連携を更に深め、看護の質の向上に繋がるような活動をしたいと思います。

新宮・串本地区理事 杉山 文栄



会員の皆様のご協力のもと書記長としての役割を果たしていきます。

書記長 小泉 美穂



会員が誇りに思える協会の発展に寄与できることは嬉しいです。

監事 温 忍

日本看護協会長表彰受賞者

自宅 野村 眞佐子



この度日本看護協会長表彰を受賞いたしました。これまで支えてくださった皆様に、お礼と共に感謝申し上げます。

看護師になり 40 年余、日本看護協会、和歌山

県看護協会の発展をつぶさに見て参りました。その一瞬にでも関わられたのであれば幸いです。今は退職し一会員ですが、これからも心を寄せて行きたいと思います。

和歌山県看護協会長表彰

表彰された皆さんの声を聞いてみました！

① 抱負・モットー ② 後輩に伝えたい一言



① 理解と信頼すること
② チームワークを大切に

岩出保健所 川崎貴美子



① 一人一人が輝くチームづくり
② 精一杯の努力と感謝の心で道は開ける

和歌山市役所 石川 浩代



① 患者様から学ぶ 相手の立場に立つ
② 何にでも興味を持ってチャレンジする

医療法人 マイクリニック 谷澤 佳子



① ベテランも異動をすればその部署の新人である
② 聞くのは一時の恥、聞かずは一生の恥

国保日高総合病院 杉本 睦美



① ナンバーワンよりオンリーワン
② 日々のちっちゃな感動をいっぱい集めましょう！

海南医療センター 中西 利佳



① 患者・家族の心に寄り添える看護の提供
② その人らしく過ごせるよう援助したいですね

訪問看護ステーションおり鶴 井上 加恵



① 目配り・気配り・心配り
② 笑顔で挨拶、素敵な一日の始まりです

和歌山県立医科大学附属病院紀北分院 山下みよ子



① 常に感謝を忘れずに、自分らしく生きる
② 相手のことを思いやる心を持続けること

自宅 舟浴 孝子



① 真摯
② 看護の辛さ、楽しさ、苦しさ、喜び

和歌山県立医科大学附属病院 稲田 政子



① 失敗は成功の母、明るく前向きに
② 傾聴と共感を大切に患者様の心に寄り添って

和歌山県立こころの医療センター 松下 直子

保健師のコーナー

保健師職能委員長 櫻 根 桂 子



今年度より保健師職能委員長をさせていただきます。微力ではございますが、会員の皆様のご協力をいただきながら精一杯頑張りますのでよろしくお願い申し上げます。

しばらく保健師とは別の仕事をしており、多々現状について知識不足のことがあり、皆様に現場のことを教えていただきながら相当勉強しなければならぬと思っています。

さて、25年度看護協会重点事業の一つとして、保健師活動の体制確保と機能強化がありますが、その一環として、「新たな保健師活動指針の普及」が挙げられています。この指針に目を通して感じたことは、私は、保健師資格を取得し、三十年余となり

ますが、学生時代や卒業後の研修、保健師の活動の中で学んだ、地域全体をとらえ、健康課題をとらえ、それを解決していく、という保健師活動の原点は、現在も変わりはないということでした。しかし、近年、保健師をとりまく環境は大きく変化し、業務担当制への移行、分散配置などにより、地域全体をとらえるということが少なくなってきたといえるのかと思います。

この重点事業をふまえて、今年度の保健師職能の活動として、9月7日（土）三職能研修会（内容：事例発表）、9月28日（土）職能集会（内容：保健師活動指針について）などを予定しています。看護職として、いきいきと元気に働くために、主体的に研修に参加しスキルアップしていくことも大切です。研修会への多くの方々のご参加をお待ちしています。

助産師のコーナー

助産師職能委員長 宮 本 靖 代



平成25年度より、助産師職能委員長を務めさせていただきます宮本靖代です。

大役に不安いっぱいですが、看護協会会員の皆様や委員会のメンバーに支えて頂きながら努力してまいります。

どうかよろしくお願い致します。

平成25年度は、日本看護協会助産師職能の活動に添いながら、活動計画を以下の通り進めてまいります。

【活動目標】

- ①助産実践能力向上のために、キャリアアップ研修を開催する
- ②新人助産師教育の充実を図る
- ③助産師職能として思春期教育出前事業を行い、地域に根ざした活動を行う

【活動計画】

- ・7月27日：助産師研修会
テーマ「周産期のメンタルケアについて」

- ・9月7日：助産師職能集会

テーマ「周産期の現場から見た子育て支援と課題」
大阪府立母子保健総合医療センターの北島博之氏のご講演

- ・10月27日：近畿地区助産師研修会

テーマ「助産実践能力強化に向けて ALLJAPAN 助産師のクリニカルラダー」

- ・12月14日：衛星通信研修

テーマ「助産師のキャリアパス・クリニカルラダーの基礎理解」

上記のように、今年度から日本看護協会助産師職能からのクリニカルラダー普及活動が始動します。

また、今年度は初めて新人助産師研修会を3回シリーズで8月、9月、10月に開催します。

思春期教育出前事業としての出前教室や、まちの保健室への協力は継続して行う予定です。

会員の皆様のご協力、各研修へのご参加をよろしくお願い致します。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅰ 委員 福山悦子



看護師職能委員会Ⅰの活動に参加させていただき2年目に入りました。職能委員はということをするのか、何もわからず委員会に参加し、この1年、他の委員の方々に引っ張って貰いながらやってきました。委員会に参加することで、県内各施設の方々との交流から学ぶことも多くあり、勉強をさせて

いただける機会にもなっています。

看護師の質の向上・医療連携の確立・働き続けられる職場作りに向けた活動を行って、看護師が看護の力を少しでも発

揮できるようにしていきたいです。

今年度の委員会活動目標は

1. 看護師の活躍する場が拡大していくに伴い、更なる看護の質の向上を目指す
2. 看護師がいそいそと働ける環境作りを推進する
3. 三職能の連携を強化する
4. 看護協会の組織を強化するためにPRを図る

です。

9月7日(土)には、看護師職能集会、テーマ：「認知症ライフサポートへの取り組み」・三職能合同研修会、テーマ：「職域・職能の連携を図ろう」を開催いたします。

多くの皆様の参加をお待ちしています。

看護師のコーナー

看護師職能委員会Ⅱ 委員 藤本未央



看護師職能委員会Ⅱが創設され2年目となりました。私自身も委員として2年目になりますが、昨年度は職能委員会Ⅱの在り方や活動内容についてメンバーで試行錯誤しながら活動していたように思います。

急性期病院では、在院日数が短縮され、医療依存度が高くADLが低下している方がどんどん退院しています。私は、急性期病院で退院支援を専門に行う部署で勤務していますが、短い入院期間の中でも適切な医療を受け、患者さんが「今後どう

生きたいか」を軸に、退院後も安全な療養が継続できるように支援することを大切にしています。日々退院支援を行う中で、「家で死にたい」と言って退院された方が希望通り自宅で看取りができたとき、心不全で入退院を繰り返していた方が施設での介護で体調管理ができるようになったときなど、医療と福祉・介護の連携が重要であること、地域や介護施設における看護の重要性を実感しました。

今年度は、介護・福祉・在宅で働く看護職の資質向上を活動目標に掲げ、研修会の開催や昨年度開催した出前研修の内容充実などに取り組み、少しでも地域の看護職の方に貢献できればと思っています。

専門認定看護師のコーナー トピックス 2013

緩和ケア看護領域最新情報・活動報告

公立那賀病院 緩和ケア認定看護師 栗山文枝



私は2010年に緩和ケア認定看護師の認定を受け今年4年目を迎えます。資格取得後は、呼吸器内科・乳腺呼吸器外科病棟と循環器内科・一般内科病棟を経験し、現在は緩和ケアチームの専従看護師として活動しています。

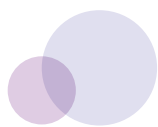
病棟ではがんと診断された入院患者さんの身体的・精神的・社会的・心理的問題に直面する中で、病棟スタッフと共にご本人とご家族がその人らしい時間を有意義に過ごし、病気の中に意味を見出すことができるようサポートできることを考え、活動してまいりました。

今年度より緩和ケアチームの皆さんに支えられながらチーム運営に励んでいます。当院の緩和ケアチームは2008年発足して以来、がん患者さんご家族を中心に主治医と連携をとるコンサルテーション型チームです。コンサルト

では「がん性疼痛」が症状緩和の中で最も多くを占めています。2012年6月に厚労省「がん対策推進基本計画」の一部が改正されました。その取り組むべき施策の一つに「患者とその家族が抱える苦痛を的確に汲み上げ、がん性疼痛をはじめとする様々な苦痛のスクリーニングを診断時から行う」と明記されています。しかし痛みは患者さん本人しかわからないものだけに、どう的確に表現し医療者に伝えてもらうかが重要になってきます。がん疼痛治療の基本は薬物療法ですが、患者さん自身が自己管理につながる看護介入も大切になってきます。

痛み以外での様々な身体症状を抱えるがん患者さんご家族に対して、これからも寄り添い、大切な時間を共有できる看護師でありたいと思っています。

地域連携のコーナー



済生会有田病院 地域医療福祉部

廣 畑 直 子



地域医療福祉部には訪問看護ステーション、療養通所介護、居宅介護支援事業所、地域連携課・相談課の職員が現在 17 名います。

地域医療福祉部は主に患者さんの在宅での生活を支えている部署です。しかし、病院職員の協力がなければ自宅で安心して療養生活をおくることは困難です。そのため今後は、病院と訪問看護師、病院とケアマネージャー、病院と診療所、病院と施設職員等の敷居をなくし、密な連携を可能にしていけることができればと思っています。また、退院支援だけでなく、病状が進行し自宅や施設での療養生活に限界を感じたときには、スムーズに入院ができるような太いパイプの流れを構築していきたいと思います。そうすることで、患者さんの退院後の療養生活をより安心なものにすることができると考えています。この安心感は、患者さん

や家族だけでなく、診療所の先生や訪問看護師、ケアマネージャー、施設職員等にも伝わっていき、より長期的な自宅での療養や看取りも可能になります。住み慣れた家での生活を少しでもながく継続できるように支援していくことが地域医療福祉部の役割であると感じています。

地域医療福祉部の主な取り組みとして、病院を退院して自宅や施設で生活する患者さんに継続した看護や介護が提供できるように、摂食・嚥下障害看護認定看護師の協力を得て 2 ヶ月に 1 度勉強会を開催しています。また、無料低額診療事業の窓口を担っています。

地域住民が安心して過ごせるように、気持ちのよりどころと思えるような役割を担える病院をめざし、その一翼に関与できる部署として役割を果たしていきたいと考えています。

「世界禁煙フォーラム2013 in 和歌山」に参加して

社会経済福祉委員会 岸 上 恵 美

5 月 26 日、「受動喫煙の環境学～健康とタバコ社会のゆくえ～」(世界思想社)を執筆された近畿大学文学部専任講師の村田陽平氏を迎え、県立和歌山工業高校で世界禁煙フォーラムが開催されました。

昨今、中国の大気汚染(PM2.5)の環境汚染が問題となり、屋外の危険ばかりが注目されがちです。しかし受動喫煙の有害性から考えると、日本では屋外より屋内の PM2.5 が高く、タバコ煙が屋内環境に与える危険性が高いことを問題視されて

いました。室内環境では、たとえ「完全分煙」でもタバコ煙は流れ込み受動喫煙が起こるため、「完全禁煙」でなければ、暴露の危険性は避けられません。和歌山県では、男性の喫煙率が高く、がんによる死亡の最大の原因と言われています。喫煙や受動喫煙を防止するために、私達医療従事者は、タバコが及ぼす健康被害や、室内環境改善に対する意識向上にむけ、啓発していくことで、禁煙支援をしなければならないと感じました。

「まちの保健室」



1日まちの保健室



- ・9か所での参加者は1,064名であった。
- ・参加者の中にはご自身の健康についてあまり気にされていない方もおられた。数値の説明を受けられ、日頃の食生活、運動などの必要性を分っていただけた。
- ・去年の「1日まちの保健室」で血圧が高く病院の受診を勧められた参加者が今年も参加された。受診の結果高血圧症であることが分かり内服治療を始められたと報告してくださる。また感謝の言葉をいただいた。
- ・今年度初めて「看護の日記念行事」を実施した。どのコーナーも人気があり、高校生、看護職、地域住民など幅広い年齢の参加者に看護の魅力と看護の心を伝えることができた。
- ・まちの保健室に参加して下さった方々はもちろん、買い物に来られた方にも看護協会のPRをすることができた。



お陰様で創立60周年を迎えさせていただくことができました。

東洋羽毛のゴア® 羽毛ふとん

汚れのもとになるものはふとんの中に入りません。

寝ているときの汗はこもりません。

まるでふとんが呼吸をするように

いつも衛生的で心地よい温かさを保ちます。

温かいを超えた至福の寝心地を、

是非お試しください。



東洋羽毛関西販売株式会社

和歌山営業所
〒640-8329 和歌山県和歌山市田中町2-18-1-2F
☎ 0120-32-7766

ホームページアドレス <http://www.toyoumo.co.jp>

清潔・きれい・衛生
Bedding Products

★★★フレッシュナース★★★



「これからの自分」

社会保険紀南病院 6階西病棟

赤井 香澄

4月から循環器病棟で看護師として働き始め覚えることがいっぱいですが、プリセプターさんを始め病棟の先輩方が一つひとつ丁寧に指導してくださり、毎日学び得るものが多く充実した日々を送っています。働き始めて複数の患者様を受け持たせて頂くようになり、基礎をしっかりと身につけた上で患者様一人ひとりに合った看護を行うことが重要であると改めて実感しています。今はまだ業務をこなすことで精一杯になりがちですが、患者様の様々な思いや訴えを傾聴し、身体的・精神的にも患者様に寄り添った看護をしたいと思います。これからも日々の学習や経験を積み重ね、一日でも早く患者様から必要とされる看護師になれるよう頑張りたいです。



日本赤十字社和歌山医療センター 手術室

丹野 康平

私は今年、国家試験に合格し、地元である北海道から和歌山県に来ました。

まず一番に気候の違いに驚かされました。和歌山県は北海道とは違い、湿度が高く気温も高いので慣れるのが大変です。また、言葉の違いにも戸惑いました。例えば北海道では「～の方が良い」と言うが、和歌山では「～しか良い」と言います。このような言葉の違いから患者さんの言っていることがわからないこともありました。しかし、病棟の皆様が温かく歓迎してくれたことや先輩看護師の熱心な指導により少しずつですが業務を覚え、和歌山県言葉にも慣れることができました。これから自己研鑽を怠らず、少しでも先輩看護師のように実践できるよう頑張っていきたいです。



「新人看護師として」

橋本市民病院

南 征克

私は一度社会人を経験し、看護師に転職しました。看護師を目指すきっかけとなったのは、何年か前から介護職として高齢者と関わるようになったからです。そのなかで人と関わることの楽しさを知り、生涯の仕事にしようと考えようになってきました。しかし状態の観察や侵襲を伴う処置など、より多くの援助ができるのは看護師であることから、看護師免許を取得することにしました。

現在は、ようやく病棟の雰囲気にも慣れ、周りの先輩看護師にご迷惑をかけながらも、温かい見守りとご指導を受けています。今後の目標は、患者様の立場に立って考え、安全・安楽に配慮した援助を行える看護師を目指すことです。

私の



《私の繋がり》

医療法人裕紫会 中谷病院

竹中 武馬



今の時代、Facebook や Twitter など、携帯電話一つで人との繋がりを持つ事が出来ます。しかし、その繋がりとは表面上のもので、あまり意味のある繋がりとは思えません。

先日、「平成 24 年度ファースト男子会」なる飲み会が開催されました。昨年、看護管理者養成研修ファーストを受講したとき知り合った男性陣だけの集まりで、大変盛り上がりしました。終わりに近づくとつれ、誰からともなく「次回は誰が

幹事で、いつ集まる？」という声が出ました。その時に何か結束のような強い繋がりを感じました。看護という同志志を持った者同士の出会いはよりいっそう貴重な事のように思います。なので、研修を受講された時は隣の席の方に、まず自己紹介をして繋がりを持つことをお勧めします。

最後に「平成 24 年度ファースト男子会」メンバーのみなさま、11 月に会える事を楽しみにしています。

リレーエッセイ

友達の

輪

Vol.45

海南医療センター

津本 美鈴

看護師になって十数年、色々な失敗をしながら周りの方に助けてもらい今日に至っています。安全で良質な医療と看護を提供していけるように日々頑張っています。

私が勤める海南市民病院は平成 25 年 3 月に新築移転しました。免震構造された 5 階建てで、3 階には庭園があります。名称も海南医療センターと変わり、気持ちも新たに苦手なパソコンを前に、電子カルテとオーダーリングシステムと毎日奮闘しています。休日には、ガーデニングや野菜作りを楽しんでリフレッシュしています。



次回は、日高総合病院 早田 美恵 さんをご紹介します。

医療安全

数珠つなぎ

有田市立病院

医療安全対策室 池下 恵



一緒に写っているのは、『黒潮 第120号』表紙に載りとして掲載していただいた、我家の家族 フェレット（ミルキー）です

「不安」という文字が頭の上で行ったり来たりしながら、医療安全対策室に異動。前任師長に支えていただき、あっという間に一年が経ちました。

日頃、どうしても看護現場に足が向いてしまうのですが、今年度は他職種部門の訪問を増やし、『迷わずインシ

デント報告ができる（報告できる環境作り）をおこない、看護師以外の職種におけるインシデント報告増加を図っていきたくと考えています。

次回号に紹介させていただく方は
海南医療センター 大谷 千佳子 様です

My Hospital

愛徳医療福祉センター



看護部長 吉中 知子

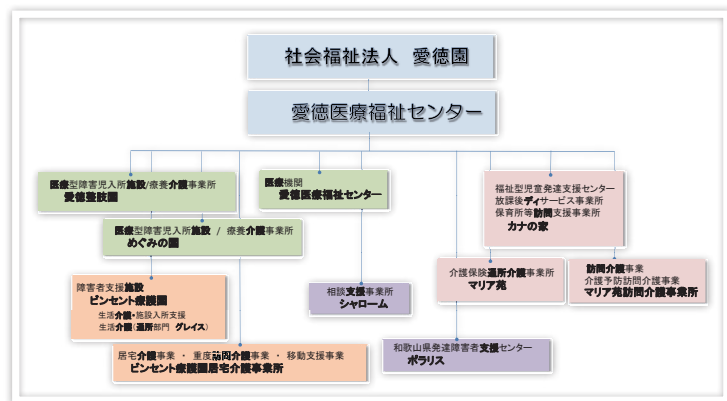
社会福祉法人愛徳園の前身は、昭和36年7月、当時生活に困窮していた方や病気療養の方への救援活動を行っておりました。愛徳姉妹会のシスター達为中心となり、本県で初めてとなる肢体不自由児施設「愛徳整肢園」を開園したのが始まりです。

翌昭和37年4月、社会福祉法人の認可を受けて以来、身体障害者看護施設を始め重症心身障害児施設・重症心身障害児者通園事業（A型）施設を併設し、長年培い蓄積してまいりました。医療・リハビリテーション・生活指導等の療育機能や介護、ボランティア育成等の福祉支援の知識と経験を結集し、肢体不自由児・身体障害者・重症心身障害児（者）のニーズに応えてきました。更に、和歌山県発達障害者支援センターを始め、通園やデイサービス・短期入所・ホームヘルパー派遣・相談支援事業等、在宅福祉活動も実践し、地域福祉の拠点として積極的に各種事業を展開しています。

肢体不自由児を対象とした愛徳整肢園と、重症心身障害児（者）を対象としためぐみの園は、医療施設であると共に、児童福祉施設及び障害福祉サービスを提供する施設で、併せて定員60名です。愛徳整肢園には4歳～18歳の障害児や整形外科の疾患（ペルテス病・側弯等）の児童が入所し、術後

管理、リハビリ等を受けています。又、めぐみの園には1歳～64歳までの重症心身障害児（者）が入所しています。たとえ、重い障害を持っていても、人間として尊重され愛されその生活が少しでも安楽で充実したものになる様、支援しています。その為には、療育の総合的なアプローチが要求され、良心的で真摯な看護の姿勢、観察力、気付きが必要とされます。異常の早期発見、早期対応していく先取りの看護の意義がここにあり、看護師は能動的な姿勢が要求されます。

当園の看護師は、障害児に対し心からの温かさ、明るさを持って互いに努力し喜びをもって看護にあたっています。



平成 25 年度 役員・各委員及び地区支部長名簿

★印は委員長

役 職 名		氏 名		役 職 名		氏 名		
役 員				看護研修センター 建設推進委員		山 本 友 子 谷 前 馬 理 恵 温 忍 子		
会 長		木 村 佐多子		ナースセンター事業 推進委員	★上 田 陽 子 竹 内 良 子 坂 口 スマ子 小 泉 美 穂 高 垣 通 代 子 鈴 木 幸 子 池 田 敬 子 柏 谷 恵 子 寺 本 ゆ み 子 畑 中 保 子 松 尾 文 美 河 原 美 恵 子 土 山 順 子 岡 田 樹 美			
副会長		弓 庭 喜美子						
副会長		塩 路 有 理						
専務理事		黒 田 美也子						
常任理事		古 川 紀 子						
理事 書記長		小 泉 美 穂						
保健師職能委員長		櫻 根 桂 子						
助産師職能委員長		宮 本 靖 代 子						
看護師職能委員長Ⅰ		東 本 直 子						
看護師職能委員長Ⅱ		澤 越 純 子						
伊都地区支部長		小 松 仁 美		平成二十五年度日本看護 学会学術集会準備委員	★			
那賀地区支部長		曾 和 とも子						
和歌山地区支部長		岡 室 優 恵						
海南・海草地区支部長		上 裕 佳 恵						
有田地区支部長		小 原 喜代子						
日高地区支部長		西 岡 倫 代 子						
田辺地区支部長		林 弘 子						
新宮・串本地区支部長		杉 山 文 栄						
准看護師理事		山 本 美佐子						
監事		灘 井 京 子						
//		温 原 伊久雄						
//	(外部)	羽						
職 能 委 員				認定看護管理者委員				
保健師職能委員		★櫻 根 桂 子		認定看護管理者 教育運営委員		★角 谷 知恵美 水 田 真由美 素 川 美 雪 岩 橋 佳 代 西 山 登志子 中 野 美 枝 仁 木 尚 司 藤 本 美 幸		
		雑 賀 恵 子						
		富 田 容 枝						
		平 野 健 志						
		井 樋 こすえ						
		斉 藤 典 代						
		山 懸 由 紀						
		天 野 多 真						
		塩 崎 裕 美						
助産師職能委員		★宮 本 靖 代 子		ワーク・ライフ・バランス 推進委員				
		★宮 本 千 寿		★角 谷 知恵美 小 川 政 予 金 川 めぐみ 辻 あさみ 小 松 仁 美 木 谷 彰 浩 杉 山 村 泰 明 中 村 村 泰 明				
		甲 斐 薫 穂						
		津 村 美 穂						
		池 島 二美路						
		植 田 啓 子						
看護師職能委員Ⅰ		★東 堀 江 佳代子		認定看護管理者会				
		★東 堀 福 中 本 告 千 睦 世 美 穂		★角 谷 知恵美 高 岸 文 裕 子 松 尾 田 本 義 子 東 池 本 義 子 廣 小 泉 美 穂				
		並 松 睦 世 美 穂						
		原 井 かおり						
		★澤 藤 越 純 子						
		林 中 景 子						
		田 本 未 央 巳 子						
		藤 津 下 陽 子						
		山 角 敬 子						
特 別 委 員				推薦委員				
「まちの保健室」運営委員		★中 村 優 子 小 田 垣 弥智世 西 山 孝 枝 坂 本 和 樹 松 間 千 幸 鬼 塚 幸 幼 松 尾 村 晴 美 南 奥 田 資 子 塩 弓 小 松 仁 美		★				
在宅看護推進委員		★鬼 塚 幸 幼 松 尾 村 晴 美 南 奥 田 資 子 塩 弓 小 松 仁 美		★				
看護研修センター 建設推進委員		★塩 弓 小 松 仁 美		★				
				選挙管理委員				

和歌山県看護協会の動き

平成25年度第3回理事会

開催日時：平成25年7月1日（月）13:00～15:00

I 確認事項

- 平成25年度総会議案の決議事項確認及び事業推進について
 - 議決事項
 - 第一号議案 平成25年度役員及び推薦委員の選出について
平成26年度公益社団法人日本看護協会代議員及び予備代議員の選出
 - 第二号議案 平成24年度決算報告並びに監査報告
 - 第三号議案 新看護研修センターについて
 - 第四号議案 定款細則の変更について
 - 平成25年度重点事業及び事業計画及び予算計画について

II 協議事項

- 新看護研修センター建設に関する今後の取り組み(案)
(承認)
- 細則変更(入会金)について (継続審議となる)

3. 各表彰候補者推薦について

- 平成25年度春の叙勲及び褒章候補者推薦
- 第41回(平成24年度)読売医療功労賞候補者推薦
- 平成25年度和歌山県ナース章候補者の推薦

- 次年度計画に関する要望・提案について(案)(承認)
- 円滑な事業運営(常務理事会・理事会等の年間計画)について(案)(承認)

- 平成25年度各地区支部活動について(承認)

III 報告事項

- 各委員会について
 - 各委員会委員について
 - 理事の委員会等の担当等について
- 理事等のメールアドレスについて
- 平成25年度和歌山県病院協会学術大会について
- その他
 - 地域医療再生計画(案)について

知事とメディカル・スタッフ団体及び病院協会長との懇談会

平成25年7月2日(火)19時からホテルアバローム紀の国で、県知事仁坂吉伸様ご出席のもと成川病院協会長、9団体の会長・理事・県行政の部長はじめ各担当者等出席のもと、懇談会が開催されました。和歌山県看護協会は木村会長と黒田が出席しました。県から、関連のある事業として、和歌山県

地域医療再生計画(案)の概要、災害医療対策の強化、在宅医療の推進、医師確保対策、第六次和歌山県保健医療計画の概要等について、県の担当者から詳細な説明がありました。その後、各団体から質問や各事業に対する提案要望事項など、活発な意見交換の後21時過に閉会となりました。

新人看護職員オリエンテーション開催

日時：平成25年6月28日(金)、7月10日(水)

場所：看護研修センター

今年度は各施設の現状を鑑みて2回開催することとなり、受講生あわせて204名を迎え新人看護職員オリエンテーションを開催致しました。午前中は、日本看護協会、和歌山県看護協会の役割や動向等について、午後からは、「先輩達の経験談から学ぶ」と題して先輩4名が体験談を発表後「いきいきと働きつつけるためには」のテーマのもと交流会をもち、そこでは「病院は違って同じ悩みを持ちながら頑張っており、自分も頑張ろうと励みになった」「ON・OFFをうまく切り替え、リフレッシュして頑張りたい」等多くの前向きな話し合いがなされました。



知って得する看護協会だより

第7号



●発行責任者／看護師職能委員長 東 直子 ●編集／看護師職能委員会

あなたのために、できること あなたに、できること

<ガイドラインの活用方法>

- ① 夜勤。交代制勤務の改善の方策のみではなく、看護現場のマネジメントの基本的な考え方や職場環境に関する改善の方向性も含めて活用する。
- ② 夜勤・交代制勤務の現状把握のためのチェックポイントとして、また、改善に取り組む際の指標・目標として活用する。
- ③ 看護学生および新人看護職の方から専門職業人として自らが働く職場環境に関する基本的な知識をえるための教材として活用する。

<ガイドライン活用の留意点>

ガイドラインの活用にあたっては職員の参加が必須であり、そのためには職場の現状を十分に把握・分析した上で活用の仕方を検討する。

各施設が「勤務編成の基準」を参考に勤務時間などの変更を行う場合は、それが業務内容や看護職の生活に大きな影響をもたらすことを十分に認識し、各施設の現状や課題を踏まえ丁寧に検討を進める。

第15回

プレゼント!

「足まくら」

を
3名様に!どちらか1つ
当たります!

「図書券」

1,000円分を
2名様に!

みなさま、どしどし応募してください。

はがきに ①希望の商品名 ②氏名 ③会員番号 ④郵便番号・住所
⑤電話番号 ⑥勤務先名 ⑦本紙へのご意見・ご要望を明記の上、
9月25日(水)までにお送り下さい。(消印有効・1人1通のみ)
抽選の上、当選者の発表は、賞品の発送をもって代えさせていただきます。



宛先

〒641-0036 和歌山市西浜 1014-27 和歌山県看護協会 「8月号プレゼント」係

プレゼント
応募者の声

- いつも楽しみに読んでいます。
- 毎号身近な情報満載で楽しみにしています。
- インデネシアから国家試験合格を目指すスタッフがあり、学ぶ姿勢を見習わなければと思います。